

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	スポーツの経済学		
英文授業科目名	Sport Economics		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7(6, 8)学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	大鋸 順		
居室	東1-403		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oga@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>スポーツが生活文化の一つとして定着するようになると、そこに経済活動が発生する。行うスポーツ、見るスポーツ、賭けるスポーツなどそれぞれ独自の経済活動が発生し、スポーツ産業に発展している。ここでは、スポーツをめぐる経済活動が、どのような展開をしているかを検証するとともに、スポーツのもつ経済学的特性を探る。</p>

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
経済学

【教科書等】
<p>教科書：大鋸順著（1999）「スポーツの文化経済学」（芙蓉書房出版） 参考書：Ming Li（2001）"Economics of Sport", Fitness Information Technology</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

テキストを中心に、スポーツの価値、スポーツをめぐる経済活動、スポーツを支える人々、制度の選択などを解説する。また、参考書を輪読し、プレゼンテーションを行う。

第1回：オリエンテーション

第2回：文化経済学的思考

第3回：生活とスポーツ

第4回：スポーツ振興システム（享受能力の育成）

第5回：スポーツ振興システム（環境整備）

第6回：スポーツ消費者

第7回：スポーツ振興の経済活動（公共部門）

第8回：スポーツ市場の経済活動（民間部門：家計消費）

第9回：スポーツ市場の経済活動（民間部門：用品用具の製造・販売）

第10回：スポーツ市場の経済活動（民間部門：サービス産業）

第11回：スポーツ組織の経済活動（民間非営利部門）

第12回：スポーツを支える人々

第13回：プロスポーツの経済活動

第14回：スポーツ振興と社会・経済システム

第15回：テスト

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況、プレゼンテーション、レポート及び試験を総合的に評価する。
受講生は参考書を翻訳し、プレゼンテーションを少なくとも一回実施する。

【オフィスアワー：授業相談】

月：午後

水：午後

金：午後

適宜相談に応じるが、電話、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

スポーツに関心のある学生の受講を希望する。

【その他】